

# 小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業実施報告書

## (研究指定校用)

<b>研究指定校名</b>	北海道檜山北高等学校	せたな町立北檜山中学校	せたな町立北檜山小学校
---------------	------------	-------------	-------------

### 1 研究テーマ

故郷への回帰意識“またせたな！ おらがまちが一番！”を育むキャリア教育の充実  
 ～豊かな地域の自然、人的資源を活かし、せたなから「海の幸、山の幸にこだわる日本一」の人材育成を  
 目指して～

### 2 研究の目的

児童生徒の社会的・職業的自立に向け、発達段階に応じ、地域の特性や教育資源を生かしたキャリア教育を推進する。

### 3 研究内容と経過

#### 「地域ダイスキ！プロジェクト」について

- 取組の分析と課題の明確化
  - ・各校の取組について報告、協議を重ね、課題の検証を行うとともに、本事業における取組内容を検討した。
- 全体計画の策定
  - ・全体計画の策定指針を確認し、小・中学校の全体計画を踏まえて高校との連携の観点を整理した。その上で全体計画の原案を作成した。
- 地域の特性や教育資源を生かした取組
  - ・各校における「職場見学・職場体験・就業体験」のつながりを確認するとともに、高校で実施している「地域巡検」の取組の活用を提案した。
- 「地域理解」講演会の実施（5月29日）
  - ・今金町教委の宮本雅道学芸員を講師に招き、檜山北部の歴史やピリカ遺跡等についての理解を深める講演会を開催した。（参加者：2年生103人）
- キャリアノートの作成
  - ・地域未来づくり会議（12月14日）を受けて、キャリアノートの在り方を協議した。12年間を通して活動した記録「ポートフォリオ」を作成すること、「職場見学・職場体験・就業体験」の観点で取組の集積・引継ぎを行うこととし、ポートフォリオ型キャリアノートの原案を作成した。

#### 「子どもダイスキ！プロジェクト」について

- 座談会・出前授業・家庭科副読本を活用した授業の実施
  - ・次年度以降の実施に向けて取組内容を町教委及び小中高間で確認した。
  - ・次年度以降の実施に向けて、家庭科においてシラバスの中に位置づけて取り組むことを確認した。

## 4 研究の成果

### (1) 実践による効果

#### ア 児童・生徒への効果

- ・本年度は、各校の課題の精査、全体計画の策定、キャリアノートの作成を中心に取り組んだため、次年度の取組により検証する。

#### イ 教員への効果

- ・従前のキャリア教育の取組の課題を掘り下げ、児童生徒の状況及び地域の負託に応える取組を再構築する契機となった。

#### ウ 保護者及び地域への効果

- ・地域未来づくり会議において、各校における保護者や企業家から求められるキャリア教育について意見をいただくとともに、協力体制の基礎を作ることができた。

### (2) 研究の成果と今後の課題

#### ア 研究の成果

##### 「地域ダイスキ！プロジェクト」の取組

- 全体計画の策定
  - ・小中高校で取り組んでいたキャリア教育を相互に理解するとともに、接続・連携の在り方について確認することができた。
  - ・地域から要請されている使命を再確認し、育てるべき児童生徒像を町教委及び小中高校間で共有し、12年間の全体計画を策定することができた。
- キャリアノートの作成
  - ・小中高校で取り組んできたキャリア教育の実践を相互に持ち寄り、共通して取り組む事項について確認し、キャリアノートを作成することができた。

##### 「子どもダイスキ！プロジェクト」の取組

- 座談会・出前授業・家庭科副読本を活用した授業の実施
  - ・取組の内容を町教委及び小中高校間で確認するとともに、次年度実施に向けた計画策定の足がかりとなった。

#### イ 今後の課題

##### 「地域ダイスキ！プロジェクト」の取組

- 全体計画の策定
  - ・全体計画を大まかに作成することができたが、細部の計画・実施に繋がるよう各校連携の取組内容をより具体化する必要がある。
- キャリアノートの作成
  - ・児童生徒の現状及び取組内容に応じて、随時工夫し変更を加える必要がある。

##### 「子どもダイスキ！プロジェクト」の取組

- 座談会・出前授業・家庭科副読本を活用した授業の実施
  - ・高校だけの取組とならないように、連携する小・中学校はもちろんのこと、他の小・中学校や地域にも案内する。



